



『星をさがして』 作：たあつこ=かおり（絵描き・アトリエ booka 主宰）

目次

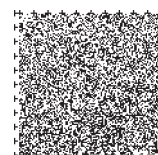
- ① りいぶる★アイ「つなげよう、ひろげよう～女性たちの輪を～」
和歌山イコール会議設立記念シンポジウム
- ② 今年度の事業案内
- ③④ 色とりどり講座レポート・15周年記念りいぶるマルシェ
「元気な和歌山」地域連携事業開催レポート
- ⑤ 地域のチカラ
- ⑥ 青少年・男女共同参画課インフォメーション
スタッフおススメ図書紹介
- ⑦ “りいぶる”相談室
性暴力救援センター和歌山 わかやま^{マイ}mine

表紙デザイン作者、たあつこ=かおりさんコメント

『星をさがして』

山をこえると、草木が手をふる。海を渡ると、さざなみの音。町の明かりが小さく見える。
こんな日には、空に星を探しに行こう。静かな三日月、ひとつぶひとつぶ光る星。
ふんわり大空泳いでいたら、自分の中にもきらりと光る星を見つけた。

「幸せは遠くにあるものではなくて、自分の心の中にあるもの」。自分らしく輝ける明日へ、願いを込めて。





つなげよう、ひろげよう ~女性たちの輪を~

和歌山イコール会議設立記念シンポジウム

今、女性たちが 和歌山を元気にする。

12月1日(日) 県立図書館2階 メディア・アート・ホール

和歌山の女性たちがつながる新しいネットワーク、「和歌山イコール会議」が12月1日に設立されました。「みんなが元気にいきいき生活できる和歌山」をめざし、また災害時の連携も視野に入れ、様々な活動を展開していこうと、130人を超える女性たちが入会しています。この日は、設立を記念した基調講演やトークセッションが開催され、会場は多くの参加者で熱気に包まれました。

和歌山から生まれた新しい女性たちの“風”。これから地域で、どんな風を起こしていくのでしょうか。

第1部 基調講演 ネットワークで結ぶ『女性力』『地域力』『復興力』

講師：清原 桂子さん（ひょうご女性未来会議代表）

清原さんから、女性のネットワークの有効性などについてお話いただきました。

地縁・血縁でつながっていた農業社会からサラリーマン社会へ移り変わり、地域の人間関係が希薄になったことで「孤」育て※や居場所のない定年後の男性問題などが生じたと述べられ、自身も体験された阪神・淡路大震災の際には男性のアルコール依存やDV加害、ベビー・女性用救済物資の不足など、多くの課題が顕在化したことを挙げられました。普段からの助け合いや支え合いが不可欠と述べ、被災前から本格復興を視野に入れ地域住民と自治体がともに取り組む「事前復興」の必要性を話されました。

また、女性は生活者としての視点があり、肩書きにとらわれない人間関係と行動力を持ち、災害時にはこれらが強みとなる。女性たちが意見を出せる仕組みをつくるとともに、女性リーダーの必要性も指摘され、これからの和歌山イコール会議の取組に期待を寄せられました。※「孤」育て：孤立した中で母親が子どもを育てている状態。



第2部 トークセッション 今、女性たちが和歌山を元気にする

コーディネーター：松原 敏美さん（弁護士、和歌山イコール会議代表）

スピーカー：市場 美佐子さん（3Wわかやまウィメンズワッチタワー事務局代表）

小原 智津さん（NPO 法人和歌山eかんにい理事長）

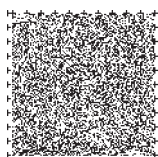
竿本 有紀さん（ハッピーママライフ事務局）

島 由佳子さん（県訪問介護事業所協議会会長）

アドバイザー：清原 桂子さん

防災、男女共同参画、子育て、介護など多様な分野で活動している女性たちがスピーカーとなり、“女性たちが和歌山を元気にする”をテーマにトークセッションを開催しました。「生活者としての視点」が防災や経済活動でも強みとなること、女性が自身を肯定すること、感性を広く生かしていくことが「元気な和歌山」の実現につながるなど、活発な意見交換が行われました。

また、「和歌山イコール会議」の役割についてスピーカーから「女性の声をあらゆる分野に届ける」「多様な意見を出し合い地域社会に生かす」などの意見が出されました。会場からの意見も交え、女性が力を発揮できる社会の実現に向けて、大きく飛躍する契機となりました。



シンポジウムに先立ち、 設立総会を開催しました

和歌山イコール会議の発足のきっかけは、「りいぶる」が開催した「つながりを広げる交流会」でした。

女性たちが日々生活のなかで感じる疑問や気づきを、意見として出せる場があれば、それがひとつの形になり、地域の課題解決につながります。

イコール会議は6部会に分かれて、交流や情報交換、提案された課題に取り組んでいきます。設立総会では松原敏美弁護士が代表に選ばれ、会員はそれぞれの部会に分かれ、活発に意見交換を行いました。



6部会



各部会で提案された課題への取組や、
災害時の連携も視野に活動します！

一緒に活動してみませんか？

「和歌山イコール会議」では、随時入会を受け付けています。活動を通じて多様な分野の女性とのネットワークを結び、様々な活動に取り組んでいきます。

趣旨に賛同いただける女性の入会をお待ちしています。

お申し込み、お問い合わせは、「りいぶる」まで。

入会申込書はHPからダウンロードできます。

FAX：073-435-5247

eメール：e0315011@pref.wakayama.lg.jp

“りいぶる”から つながろう、ひろげよう 今年度の事業案内



新しい事業が始まります

☆はじめての男女共同参画 エキスパンダー養成講座

男女共同参画を地域で広げる人材(expander)養成のための連続講座です。和歌山市と田辺市で開催予定。「元気な和歌山」実現をめざし、一步を踏み出しませんか。

☆女性のキャリア形成支援事業

「自分らしく働き続けること」をめざす女性のための、キャリアデザインやスキルアップの連続講座です。参加者同士の交流会もお楽しみください。

今年も充実♪

りいぶるフェスタ2014

毎年好評のビッグイベント、りいぶるフェスタ。今年も11月中旬、人権フェスタと同時開催。有名講師による講演会、ポスター表彰式など。詳細が決まり次第、ホームページやフェイスブックでもお知らせします!!

「元気な和歌山」地域連携事業

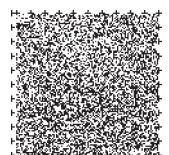
地域で描く「元気な和歌山」「男女共同参画」をカタチにしませんか？

市町村と連携した事業企画を公募、優れた企画は県の事業として、実現していただきます。

公開セミナー

旬の話題や注目の高いテーマを盛り込み、男女共同参画を楽しく、わかりやすく学べるセミナーを開催します。6月の男女共同参画週間にちなんで和歌山市内で、その他県内でも開催予定。お楽しみに♪

「啓発ポスター募集」「語り合いの広場」「デートDV防止啓発」などの事業も継続して実施します！





色とりどり講座レポート！

詳しい内容は“りいぶる”HPで紹介しています♪

私にもできる！ 「地域社会への貢献をビジネスに！」

10月26日、11月9・30日・12月7日 “りいぶる”
講師：有井安仁さん【(公財)わかやま地元力応援基金専務理事】



「社会貢献ビジネス」をめざす人を対象に、起業の方法を実践的に学びました。有井さんからの具体的な個別のアドバイスを中心に展開。起業された女性(上田茜さん、藤戸佐千世さん)の体験談から、起業への具体的な道筋をつかむことができました。

受講者同士の交流も生まれ、実現への大きな足がかりとなりました。



おんたとおとこ、笑ってコミュニケーション

1月15日 新宮市職業訓練センター
講師：姉様キングス

【桂あやめさんと林家染雀さんの音曲漫才コンビ】



トークショー、講演(桂あやめ)、化粧実演(林家染雀)、音曲漫才とにぎやかに展開。

落語は女性には無理という垣根を越え桂文枝さんに弟子入りしたあやめさん。大阪大学を卒業し入門した染雀さん。自分らしく生きてきたお二人から、男女にとらわれることなく様々な思い込みから自由になるヒントをいただきました。

最後は芸者姿の「姉様キングス」の音曲漫才。笑いの中に男女共同参画への気づきがある、楽しい時間となりました。

“仕事を持ちたい”ママのためのブチ交流会

11月22日 “りいぶる”
講師：江川博之さん
【ハローワーク和歌山マザーズコーナー】



江川さんは、「福祉・医療職は求人が多いが人材不足、事務職は応募者に比べ求人が少ない」など現状を解説。また、面接のポイントは、応募の理由を的確に説明できるようにしておくこと。子どもの預け先などの情報はマザーズコーナーでも提供していると話されました。

後半は、「働くことへの不安」「理想の働き方」などを参加者同士で話し合い、再就職への自信を得る機会となりました。

DV被害者支援ボランティア養成講座(応用編) 「支援に向けて、実践に生かす」

1月19日・2月2日 御坊市中央公民館
講師：宮野由起子さん【(有)FC堺フェミニストカウンセラー】
松原敬美さん【弁護士】

DVを正しく理解し、被害者を支援する人材養成講座の応用編。メイン講師の宮野さんは、「DVは根本に男女差別とジェンダーがある。相談員は被害者の気持ちに寄り添い、共感することが大事」などと話されました。

松原さんは、DV被害者からの相談に役立つ法律知識をQ&A方式で分かりやすく解説されました。

受講者は、ワークを通して活発に意見交換を行い理解を深め、地域での活動に生かせる講座となりました。



女性のための自己表現 ～自分も相手も大切にすること～

12月14日 “りいぶる”
講師：藤原暁子さん【(有)FC堺心理

多くの女性が苦手とされる自己表現。根底には「女の子となしい方がいい」など、ジェンダーの影響があると解説。互いを大切にしながら、自己気持ちを伝える「アサー



働く女性のキャリアアップ

2月6・13日 “りいぶる”
講師：柳生幸枝さん【鎌倉人材育成
佐藤千里さん【(一財)女性労働

第1回は、働く女性たちをワークを通してタイムマネジメントを実際を学びました。柳生さん「ワークライフバランスは、ためのもので人によりバラを認めて働き方の改革を」

第2回は、佐藤さんから、女性の活用や、多様な働きバースティ経営について学

組事例も紹介した。状態や課題につ



“りいぶる”開館15周年記念イベント

りいぶるマルシェ

12月

絵本の読みきかせ&巨大ぬりえ



きいちゃん登場！

一緒に読みきかせを楽しみました♪



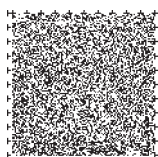
巨大ぬりえに大喜び！

一坪チャレンジショップ

個性あふれるショップが勢揃い！幅広い世代でにぎわいました♪



これから“りいぶる”よろしくだ！



自己主張セミナー
するコミュニケーション～

堺心理カウンセラー】

される自
の子はお
ど、ジェ
解説。お
自分の
ナーティ
ブ」について学びまし
た。「私」を主語に気
持ちを伝える『1メッ
セージ』のワークも行
い、日々の行動に生か
せる講座でした。



IA応援セミナー

育成ラボ代表】
性労働協会専務理事】

たちがワー
ジメントの
生さんは、
は、すべての従業員の
バランスが違う。多様性
を」と解説されました。
から、人事担当者向けに
働き方を実現するダイ
て学びました。企業の取
紹介され、グループで現
について意見交換をし



2月15日開催しました

女共同参画パネル展示

＜展示テーマ＞

『女性の時代を拓いた小
さな印刷物』
『21世紀の女性の仕事』
(2000年～2012年)

からも
ふる”を
くだワン!



元気な和歌山

地域連携事業

今年も多様性に富んだ
7事業を開催しました!

防災に女性の力を!!
～苦難を乗り越えて経験を生かす～

12月8日 那智勝浦町健康福祉センター
団体：つばさの会・和歌山



陸上自衛隊の
竹田妙子さんが、
看護・心理職の
立場から被災者
と隊員双方の心理
ケアの必要性を説明。また、
支援地域の女性の力を生かす
活動についても話されました。
後半は、那智勝浦町職員が防
災対策を説明、参加者で意見
交換を行いました。

今日からできる!
いのちを守る防災術

12月8日 “りいぶる” 団体：転勤☆ズ

防災ファシリテーターのあ
んどうりすさんの、アウトド
アの知識を取り入れた、すぐ
にでも実践できる防災術。

子どもと一緒に避難する
ときの具体的なアドバイスや、
防災グッズなどを紹介、ま
た、地域のつながりの大切さ
も話されました。



子育て世代の
参加者が多く、
熱心にメモを
取っていました。

中高年夫婦の共に
依存しない幸せな生き方

1月12日 新宮市福祉センター
団体：ウィメンスタディズ熊野

大阪樟蔭女子
大学教授の石蔵
文信さんが、男
性更年期の診療
を行うなかで見え
る定年後の夫婦のあり方を
解説。妻から切り出される
熟年離婚が多く、夫には「妻
を名前で呼ぶ」「身の周り
のことは自分でする」など、
良い夫婦関係を続ける秘訣
を伝授。終始、笑いあふれ
る講座でした。



Let's まち女子トーク

1月19日 “りいぶる”
団体：アクトコミュニティネット



「まちづくり」に
ついて考える企画。
コミュニティスペ
ース「納屋工房」代
表の長谷川香里さんと、
和歌山大学地域連携コーディネーターの後
藤千晴さんが、まちづくりの体験から「人
が集まる『場所づくり』は、人とまちをつ
なぐ可能性を広げる」と語られました。参
加者は自分の住む足元（まち）を楽しく見
つめ直す機会になりました。

女性の目線で考える避難所運営

1月19日 御坊市役所
団体：ウィズ・ア・スマイル

和歌山大学防災教育セ
ンター客員教授の今西武
さんから、災害時は男女
問わずできる人が役割を
担うこと、そのためには
普段からの防災訓練と連携が大切と学びま
した。



防災用品展示のほか、車いすに乗ったま
ま避難できる機器を使い、実際に市役所か
ら避難所まで歩き避難訓練を行いました。

ローカルアクションの挑戦

2月15日 和歌山市中央コミュニティセンター
団体：男の出番をつくる会

人と自然とのつ
ながりを取り戻す
「ローカリゼーシ
ョン」をテーマとし
た映画を上映。その後、
和歌山歴史地理研究
会幹事の小林護さん、海南市職員の
藤坂俊之さん、Design Nap 代表の
藤戸佐千世さんが、「地域と人との
つながり」を軸とした実践について
発表されました。地域に視点を
あてた活動を考える場となりました。



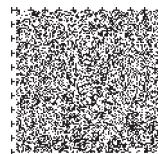
みんなで語る女性の社会進出…私の実践

2月1日 “りいぶる”
団体：わかやま楽落会

まずは、男女共
生落語と漫才で
大笑い。続いて、
JAわかやま理事
で女性会会長の田畑みき子さん
が、女性が仕事や社会活動を行
うロールモデルとして、JA女
性会の活動について話されまし
た。



最後に、参加者は女性が活躍
できる社会について、意見交換
を行いました。



地域の手カラ



地域で自分らしく、イキイキと活動する人を紹介しています。

同じ道をめざす女性のために

和歌山県警察本部 警務部警務課企画官 警視 大野 薫さん(和歌山市)



詳しくはこちら

県警初の女性警視になるまで

大野さんは、1991年、大学卒業後の進路を決める際に女性警察官の募集を知り、「社会の役に立ちたい」という思いから、警察の世界へ飛び込みました。このとき県警初の女性警察官として、大野さんを含め8人が採用されました。1年間の交番勤務を経て、西警察署の刑事第一課に配属。傷害や殺人などの事件を担当し厳しい指導を受けましたが、尊敬できる上司や仲間とも出会い、県民のためにチームとして力を尽くす仕事の醍醐味を実感できたことは、思い出深い経験だと振り返られました。

警察官の夫と結婚し長女を出産。当時、育児休業は1年間。大野さんは1年未満で復帰しましたが、両立は本当に大変で、くじけそうになったことも。そのたびに初心を思い出し、夫や両親、友人などに助けられながら続けることができたと話されました。

2013年、県警初の女性警視に任命され、現在は企画官として働きやすい環境整備や女性警察官の採用拡大などに取り組まれています。

女性警察官の採用に関することは和歌山県警察本部 警務部警務課まで。
073-423-0110 (代)

女性が活躍できる道づくりへ

最近、ストーカーやDVなど女性が被害者となることが多い事件が増加。女性警察官による対応が求められることも多く、2013年4月から県内すべての警察署に女性警察官を3人以上配属する取組を実施、同年5月には、結婚・出産・育児、介護などで退職した警察官が復帰できる再採用制度により、男女二人を採用しました。現在、県内の女性警察官は全体の約6%で、2019年までに10%に増やす計画をしています。

平成25年度の女性採用者数は11人で、平成26年度は倍近くの人数を採用。受験者を増やすため、女性限定の採用説明会を開催したところ、先輩から仕事の内容や働くうえでのアドバイスを聞くことができると好評を得ました。環境整備に向け、働きやすい職場についてのアンケートを実施、交番内に女性用の仮眠室をつくるなど改善を進めています。

大野さんは、「多くの女性警察官が活躍できるように、自分の経験が役立つならいつでも相談してほしい」と話され、働く女性に向けて「今は、社会に『女性の活躍』の風が吹いている。大変なときは長くは続かない。あきらめないで」とエールを送られました。

行き場のない子どもたちを救いたい

特定非営利活動法人 子どもセンター一も 理事 土居 聡さん(和歌山市)



詳しくはこちら

子どもたちの居場所をつくろう

弁護士として少年事件を担当してきた土居さんは、事件を起こした子どもが社会でやり直したくても戻る場所がなく、少年院へ送らざるを得ないケースを重ねるうち、子どもたちが帰る場所があればと考えていました。そんなとき子どもシェルターの存在を知り、2012年4月、有志で和歌山弁護士会「子どもの権利委員会」に企画提案しましたが、財源や人材の確保などが厳しいと難色を示されました。そこで全国のシェルターをすべて視察、それらの問題をクリアして、他職種からの賛同者も得て実現にこぎつけました。

2013年2月末、NPO法人子どもセンター一もを設立。家庭に居場所のない子ども、特に、性虐待の被害にあう女の子をまず救いたいと10月1日、県内初、全国で8都道府県目となる子どもシェルターを開設しました。まだまだ財源も人材も不足しており、ボランティアの養成講座は毎年行う予定と話されました。

子どもシェルターに関する相談、お問い合わせは事務局へ。

特定非営利活動法人 子どもセンター一も
073-425-6060 (10:00~17:00)

コタン※が支える子どもの未来

一もの定員は6人。15~20歳くらいまでの女の子を緊急保護し、スタッフやボランティアが24時間、生活をサポートしています。子ども一人ひとりに無料でコタン(※子ども担当弁護士の略称)が付き、法的手続きや保護者との連絡、今後の居場所探し、退所後の生活などを支援します。入所期間は2週間~2か月程度。その後は自立援助ホームなどの施設入所や自宅に戻ることもありますが、心の傷が大きい場合は長期ケアが必要であるため、状況に合わせた対応を行っています。

土居さんは、「シェルターでは、子どもがこれからどうしたいか、すべて自分で決める。コタンやスタッフなど大人は子どもに意見を押しつけることはしない。多くの選択肢を提示できるよう情報収集し連携を広げ、子どもが決断するときにアドバイスできるようにすることが重要。子どもは、自分の意見が尊重されていると感じると、自分に自信を持てるようになる。この繰り返しにより子どもの自尊心を回復させていきたい」と話されました。

今後の目標は、子ども自身が直接一もに相談できるようシェルターの存在を知ってもらう取組のほか、男の子用シェルターも作りたいと、子どもたちの未来を支える活動への熱い思いを語られました。

☆このコーナーで取り上げた方の詳しい活動内容は、「りいぶる」HPで紹介しています。

青少年・男女共同参画課インフォメーション

男女共同参画推進事業者を登録しました

会社名 株式会社タカショー（登録番号 男女第57号）平成25年11月12日登録

所在地 海南市 **業種** 庭園資材の卸売業 **H P** <http://takasho.co.jp/>

- 各業務に必要なスキルを整理し、仕事の手順書を作成して従業員に周知
- 育児・介護休業制度を整備し、働きやすい職場環境づくりを推進
- 育児休業の取組については、育児休業取得率等数値目標を定め計画的に推進
- 配偶者の出産時に特別休暇を付与し、父親の休暇取得を促進
- セクシュアルハラスメント相談窓口を設け、従業員に周知 他



右から公門取締役、
中平海草振興局地域振興部長



左から岩倉代表理事組長、
宮西有田振興局地域振興部長

会社名 ありだ農業協同組合（登録番号 男女第58号）平成26年2月24日登録

所在地 有田川町 **業種** 信用・共済・購買・販売・指導 **H P** <http://www.ja-arida.or.jp/>

- 性別にかかわらず公平な評価を行うため、人事考査基準を明確化
- 職務のレベルアップのため、資格取得等に関する研修派遣を実施
- 育児休業が取得しやすい環境づくりを推進
- セクシュアルハラスメント防止規程及び苦情・相談処理手続を定め、セクシュアルハラスメント苦情相談体制を整備し、職員に周知 他

会社名 株式会社日本政策金融公庫 和歌山支店（登録番号 男女第59号）平成26年2月27日登録

所在地 和歌山市 **業種** 政府系金融機関 **H P** <http://www.jfc.go.jp/>

- 女性管理職候補者を育成する体制を整備
- 事務職から業務職へのステップアップ育成制度を導入し、実施
- メンター制度を導入しサポート体制を強化
- パワーハラスメント、セクシュアルハラスメントのヘルプライン及び外部窓口を設置
- 男女共同参画に関する研修会を実施 他



右から加野和歌山支店長、
塩崎環境生活部長



左から天堅田辺支店長、
岩城西牟婁振興局長

会社名 株式会社日本政策金融公庫 田辺支店（登録番号 男女第60号）平成26年2月27日登録

所在地 田辺市 **業種** 政府系金融機関 **H P** <http://www.jfc.go.jp/>

- 女性管理職候補者を育成する体制を整備
- 事務職から業務職へのステップアップ育成制度を導入し、実施
- メンター制度を導入しサポート体制を強化
- パワーハラスメント、セクシュアルハラスメントのヘルプライン及び外部窓口を設置
- 男女共同参画に関する研修会を実施 他

詳しくはこちら [和歌山県男女共同参画](#)

[検索](#)

“りいぶる” 図書室

スタッフおススメ図書紹介 ☆貸出の方法や本の検索などは“りいぶる”まで。

『輝かない がんばらない 話を聞かない 働くオンナの処世術』

著者：深澤 真紀 出版社：日経BP社



出版編集者から企画会社を興した著者の、日経ウーマンオンライン人気コラム、『平成働き女子のための処世術』が本に。

「がんばれるときにはがんばってもいいのだが、人生の大部分は『輝かない がんばらない 話を聞かない』ことを目指したほうが、自分が長持ちする。がんばりすぎず、心が楽になる50の処世術が紹介されている。

『女たちが動く 東日本大震災と 男女共同参画視点の支援』

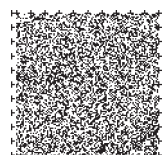
編著：みやぎの女性支援を記録する会
出版社：生活思想社



東日本大震災後の避難所での生活、支援する女性たちの活動、自治体職員や新聞記者などの女性たちの一年の記録。

女性であることで被災者が抱える問題から、男女共同参画の視点で支援することがいかに大切に気づく。「男女共同参画視点の支援」がどのようなものかが明確になる1冊。

絵本の広場 (8/22、11/28)、
保育つき読書の時間 (9/6、
12/6) に、たくさんご参加
していただき、ありがとう
ございました。
詳しくは、りいぶるHPに
アップしています！
またりいぶるに遊びにきてね！



“りいぶる”相談室

相談受付専用ダイヤル 073(435)5246

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。
秘密厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に、女性相談員が応じます。

電話相談

☎(水)木(金)土○ 9:00～20:30
(受付は20:00まで)
○○○○○日 9:00～17:00
(受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

☎(水)木(金)土○ 9:00～17:30
(受付は16:30まで)
○○○○○日 9:00～16:00
(受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるところの問題に、女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

○○○金○○ 13:00～16:40
※第1～第3金曜日
予約制、各日4人まで。
相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に、女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月4回 13:00～14:50
※日程は“りいぶる”までご確認ください。
予約制、各日3人まで。
相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に、男性相談員が応じます。

☎(水)○○○○ 16:00～20:00 (受付は19:30まで) ※毎月第2水曜日
予約優先(匿名可) 相談時間は1人40分程度

性暴力救援センター和歌山

わかやま ^{マイン} _{mine}

(和歌山県立医科大学附属病院内)

性暴力を受けた女性のために、女性支援員がこころとからだの回復のための細やかな支援を行います。



◆相談受付専用ダイヤル

オーエンキューキュー
073-444-0099

相談・医療 ※祝日、年末年始を除く

9:00～17:00 (土・日は16:30まで)

●ただし、緊急避妊など緊急医療は

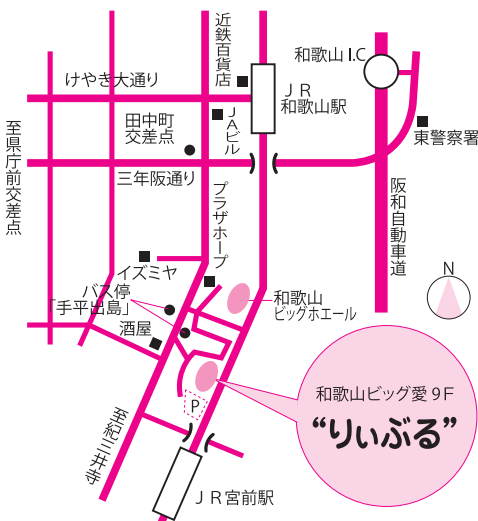
22:00まで ※年末年始を除く

●性暴力とは●

自分が望まない性的行為です。同意のない、対等でない、強要された性的行為はすべて性暴力です。

一人で悩んでいませんか。

わかやま ^{マイン} _{mine} にご相談ください。



◆発行

和歌山県男女共同参画センター

“りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

T E L (073) 435-5245

F A X (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)

年末年始(12月29日～1月3日)

HPは“りいぶる”で検索してください。